



畑小 だより

佐渡市立畑野小学校
学校だより
令和3年7月16日発行
校長 古塩 正明
Tel.0259-66-2019

自然の中で研ぎすまされる

校長 古塩 正明

「校長先生！カナヘビを見つけたので、理科室から虫かごを借りていいですか？」「昼休みに前庭でトカゲを見つけないので、行っていいですか？」「毛虫がたくさんぶらさがっています！」

最近よく子どもたちから聞かれる言葉です。

まさにカナヘビ・毛虫ブーム到来というところでしょうか？

そんな言葉を聞くと、私は「そんなものは学校の勉強に関係ないから捨てなさい！」「前庭は危ないからだめです！」とはっきり言いたい気持ちと、「いいよ、いいよ、どんどん動き回っているんな生き物も探してくるといいよ！」「どんどん草むらや林の中に入って新しい発見をしてごらん」という、相反する気持ちが心の中でせめぎ合います。

最終的には、後者の方を選び、安全のために、一緒に前庭へ行って子どもたちのカナヘビ探しに付き合いました。子どもの前向きな気持ちを無碍にはできませんでした。

コロナ禍の中、どうしても家の中に居がちです。こんなときだからこそ、自然の景色を見て感動したり、鳥の鳴き声や川のせせらぎを聞いてほっとしたり、自分がとった物を食べておいしいと感じたり、ちょっとワクワクした冒険体験で危険を自分で感じ取ったり…といった自然体験が大切になってくるような気がします。

自然の中の活動は、五感（見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触る）が研ぎ澄まされ、デジタル体験の中では感じ得ない、実体験ができるとよく言われます。

木登り遊びもそうです。もちろん、そんな危険な遊びはもちろん今では絶対にさせません。もし、何かあったら大変です。命に関わります。しかし、危ないからといって一回も経験させないというのもどうでしょう？かえって危険です。どこに足や手をかけて登ると安全なのか、どうしたら落下せずに済むか、どうやったら安全に下りられるか、という一連の感覚は、実際に木に登って、木に触れてみないと分かりません。実際にやってみるから、危険察知の感覚が研ぎ澄まされるのです。

川や海でもそれが言えます。実際に海や川でいろいろなことをすることで、どこに行くと危ないのか、どんなことをしていると足を滑らしたり流されたりしてしまうのか、自分の体が感覚的に覚えて、自分自身で安全な遊び方を習得していくのです。つまり、恐いものなしで活動することが一番危険だということです。

自然の中にある何気ないもの全てが子どもの豊かな発想力で、遊ぶ道具となり、危険察知のソナーとなり、たくましく育つ手助けとなり得ます。大人にとっても自然はストレス発散やリラックスの場になりますが、子どもたちにとっても、感覚を研ぎすますための、とても大切な場になるでしょう。

もうすぐ夏休みが始まります。コロナ禍の中、人混みを避けて、子どもとの時間をそれとなく自然との触れ合いに導いてやってみてはいかがでしょうか。自然体験で得た知恵と、研ぎ澄まされた感覚で、たくましく生きていく！そんな頼もしい大人になってくれたらうれしいです。子ども自身が、心から楽しい！嬉しい！面白い！と体感できる自然の中での活動をぜひお勧めします。

全校体カテスト



昨年度は行えなかった体カテストですが、今年度は実施することができました。種目によって場所を替え、縦割り班ごとに、体力測定をしていきました。

コロナ禍の中、体を動かす機会が減ってきている昨今ですが、畑っ子の体力はどうなっているのでしょうか？データを分析して、全国や県の平均と比べながら、今後の体カづくりに生かしていきます。

親子防犯灯籠づくり

今年度も安寿天神祭りが中止になり、畑野の町を防犯灯籠で飾ることはできませんが、親子体験の一環として、防犯灯籠づくりを行いました。

畑野の子どもたちの安心・安全を願っての体験活動です。ぜひ、これからも、犯罪や事故のない、やさしい地域になることを心から願っております。プロ顔負けのイラストもあり、びっくりしました。

ご協力いただきましたPTA総務、教養部の皆様方には深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



2年ぶりのプール水泳



昨年度はコロナ禍で、全くできなかったプール水泳でしたが、今年から実施することができました。2年ぶりに稼働するプールで、最初は少々心配だったのですが、1ヶ月前から準備をし、やっとの思いで実施にこぎつけました。

また、地域コーディネーターの皆様のおかげで、3名の監視ボランティアの方からも、プール監視にご協力いただいております。本当に感謝申し上げます。

時間や着替え等、いろいろな制約はありますが、やはり子どもたちはプールが大好きです。

課外水泳や夏休み中のプール開放ができず残念ですが、1学期中に少しでも水に親しみ、泳ぐ体験ができたことは、とてもうれしく思います。

救急法講習会

7月8日（木）、PTA主催の救急法講習会を開催しました。約20名の方から参加していただきました。

心肺蘇生法とAEDの使い方に加え、食べ物を喉に詰まらせたときの窒息対応についても講習していただきました。

子どもたちの命を守る大切な講習です。毎年欠かさず受講し、実体験することの大切さを感じた講習会でした。

ご多用の中ご協力いただきましたPTA会長様はじめご指導いただきました佐渡消防本部の皆様、大変ありがとうございました。

